

研究ノート

三重県総合博物館所蔵 貝類コレクション — シオサザナミ科・キヌタアゲマキ科 —

中野 環

〒 514-0061 三重県津市一身田上津部田 3060 三重県総合博物館

キーワード：金丸但馬, 阿部茂, 干潟, 三重県立博物館

Tamaki Nakano. * 2015. Molluscan collection of the Mie Prefectural Museum — Family Psammobiidae, Solecurtidae — .
Mie Prefectural Museum Research Bulletin, 1: 37-49.

*Corresponding author: Mie Prefectural Museum, 3060 Isshinden-kouzubeta, Tsu, Mie 514-0061, Japan
(nakant11@pref.mie.jp)

はじめに

三重県総合博物館は、服部哲太郎氏、金丸但馬氏、阿部茂氏、河芸町立図書館、三重県立長島高等学校等から寄贈を受けた貝類標本を収蔵している。

服部哲太郎氏 (1894-1969) は、三重県の文化財保護や植物研究を進める傍ら、貝類にも興味を持たれた。大正時代を中心に三重県内で収集した貝類が大半を占めるが、採集日が記されていないものも少なくない。

金丸但馬氏 (1890-1970) は、三重県産貝類調査報告 (1921)、三重県産生物目録 軟体動物 (1951) をまとめられた。金丸氏の標本は、1900年代初期から1970年まで、60年以上にわたり全国各地から収集されたものであるが、残念なことに、ほとんどの標本には採集日は記されていない。

阿部茂氏 (1916-1999) は、神宮勤務の傍ら1940年代後半から1990年頃にかけて陸産貝類を中心に収集された。後年はイシマキガイ *Clithon retropicta* の生態について研究され、その際に計測した個体もコレクションに含まれている。阿部氏の標本には、採集場所や採集日が記されている。

河芸町立図書館の標本は、1970年代に津市河芸町や志摩市で集められた海産貝類を中心とするものである。

また、三重県立長島高等学校の標本は、1950年代か

ら1980年代にかけて生物部によって調査、収集された紀北町 (旧紀伊長島町) の海産貝類を中心としたものである。

本報文では、三重県総合博物館が収蔵している日本産の貝類標本の中から、2014年12月31日現在整理、登録されたシオサザナミ科 Psammobiidae およびキヌタアゲマキ科 Solecurtidae の貝類をリストとして報告する。また、三重県に生息する種については、生息状況について言及した。なお、種数は、「亜種」や「型」も、それぞれ1種としてカウントした。

シオサザナミ科およびキヌタアゲマキ科目録

シオサザナミ科の殻は、長楕円形でふくらみが弱く薄質で、後端は裁断状となることが多い。靱帯は外在し、殻表は褐色の殻皮を有し、放射肋や斜めの褶がある。内面には平らな広い歯丘が発達する。三重県総合博物館は、18種を収蔵している。

キヌタアゲマキ科は、殻が長方形で、薄質のものから厚質のものまである。殻の前後縁は開いており、殻表は褐色の殻皮を有し、平滑または放射状の褶がある。殻後方の褶は、『くの字型』となることが多い。三重県総合博物館は、9種を収蔵している。

本目録には、1ロット中に複数の地名のラベルが混

在したものは含めたが、産地不詳の標本については掲載しなかった。

科, 属の配列は, 主として日本近海産図鑑(奥谷, 2000)に従った。和名, 学名以下は, 採集地, 採集日, 個体数, 採集者, 三重県総合博物館登録番号(コレクション名)とした。尚, 採集者については, コレクション所有者と異なる場合のみ記載した。半片だけの標本も多いため, 個体数については1片, 2片という表記をした。また, 採集地の地名は, 採集当時のものではなく, 市町村合併を反映した2015年1月現在の名称とした。但し, 必要と思われる場合は()内に原ラベルにある地名を記入した。

Family Psammobiidae シオサザナミ科

1. シオサザナミ *Gari truncata* (Linnaeus, 1767)

神奈川県逗子市, 採集日不明, 3+片, Sh009659(金丸)。

和歌山県和歌山市西浜(水軒), 1954/--/--, 3, Sh017483(阿部)。

和歌山県和歌山市西浜(水軒), 採集日不明, 2, Sh009658(金丸)。(Pl.1, fig.1)

和歌山県和歌山市西浜(水軒)・和歌山県(紀伊荒浜), 採集日不明, 4, Sh009660(金丸)。

※異なる産地名が記載された複数のラベルが混在
備考:本種は, 房総半島から西太平洋にかけての水深5~20mまでの砂底に生息する。前背縁から後腹縁方向に多くの褶があるが, 殻頂から後腹端へ走る明瞭な褶よりも後方では消失する。本コレクションのほとんどは, 和歌山県のものであるが, Sh009660には, 「水軒」と「紀伊荒浜」のラベルが混在していた。三重県では, 尾鷲市から生息記録があるが(松本, 1979), 近年, 本種は確認されていない。本コレクションには三重県産の個体は含まれていなかった。

2. アシガイ *Gari maculosa* (Lamarck, 1818)

三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区海野, 1967/6/9, 1, 採集者不明, Sh000040(三重)。※左殻割れ

三重県志摩市阿児町安乗, 採集日不明, 1, Sh016997(三重)。

和歌山県(紀伊)・兵庫県(舞子), 採集日不明, 1, Sh009631(金丸)。(Pl.1, fig.2)

岡山県倉敷市下津井(備前下津井), 採集日不明, 3,

Sh009630(金丸)。※紙をあて補修(左殻)

岡山県倉敷市下津井(備前下津井), 採集日不明, 4, Sh009632(金丸)。

備考:潮間帯から水深30mまでの砂底に生息する種で, 九州天草では潮間帯にて多数の個体を確認したが, 三重県では潮間帯で確認されていない。刺し網の混獲物に稀に混じることがあることから, 潮下帯以深に生息し, 個体数もかなり少ないと考えられる。本コレクションには, 割れを紙で補修した個体(Sh009630)が含まれ, 金丸氏が標本を大切にしていた様子が伺える。

3. ホソアシガイ *Gari sibogai* Prashad, 1932

愛知県西尾市一色町(三河一色), 1956/--/--, 1, Sh017474(阿部)。(Pl.1, fig.3)

備考:殻は小形で前後に細長く, 前背縁から後腹縁に細い多くの褶があり, 後背部は布目状になる。三重県では, 安乗から生息記録があるが(松本, 1979), 本コレクションには三重県産の個体は含まれていなかった。

4. ウスベニマスオ *Gari anomala* (Deshayes, 1855)

愛知県西尾市一色町(三河一色), 採集日不明, 2, 中山清, Sh009644(金丸)。

三重県伊勢市(伊勢北浜), 採集日不明, 4, Sh020908(金丸)。

三重県伊勢市有滝町, 1952/--/--, 6, Sh016612(阿部)。(Pl.1, fig.4)

三重県鳥羽市神島町, 採集日不明, 3片(左殻), Sh009643(金丸)。

三重県鳥羽市神島町, 採集日不明, 2, Sh020909(金丸)。

長崎県, 採集日不明, 1, Sh009645(金丸)。

備考:次種のヒノデアシガイ *G. hosoyai* に類似するが, 殻高が大きく腹縁後部が急に湾曲する点で区別した。三重県では, 伊勢湾で操業される底曳き漁で確認できたが, 現在では死殻も稀にしか確認できない。

5. ヒノデアシガイ *Gari hosoyai* Habe, 1958

愛媛県(伊予), 採集日不明, 2, Sh009665(金丸)。(Pl.1, fig.5)

備考:三重県では, 安乗水深20~30mから記録がある

が(松本, 1979), 本コレクションに三重県産の個体は含まれていなかった。

6. ミヒカリマスオガイ *Gari* sp.

高知県土佐市宇佐町(宇佐), 採集日不明, 1, Sh017480(阿部)。

高知県土佐市宇佐町(宇佐), 採集日不明, 2, Sh009676(金丸)。

高知県土佐市宇佐町(宇佐), 採集日不明, 3, Sh009677(金丸)。(Pl.1, fig.6)

備考: 殻表は平滑で斜めに走る褶はなく平滑。三重県では、安乗水深20~30mから記録があるが(松本, 1979), 近年は、確認されていない。また、本コレクションに三重県産の個体は含まれていなかった。

7. ハスメヨシガイ *Grammatomya squamosa* (Lamarck, 1818)

沖縄県, 1950/--/--, 1, 寺町昭文, Sh009664(金丸)。(Pl.1, fig.7)

8. エゾマスオ *Gobraeus kazusensis* (Yokoyama, 1922)

北海道稚内市, 1967/--/--, 1, 川村, Sh009649(金丸)。

北海道稚内市, 採集日不明, 1, Sh017546(阿部)。

岩手県, 採集日不明, 2, Sh009648(金丸)。(Pl.2, fig.1)

9. オチバガイ *Psammotaea virescens* (Deshayes, 1855)

三重県鈴鹿市白子, 採集日不明, 4, Sh009651(金丸)。

三重県津市香良洲町, 1969/--/--, 2片(右殻), Sh000041(三重)。

三重県津市, 採集日不明, 5, Sh009650(金丸)。(Pl.2, fig.2)

和歌山県御坊市塩屋町(紀伊塩屋)・和歌山県田辺市(田辺), 採集日不明, 6, 木下清一郎, Sh009652(金丸)。

※異なる産地名が記載された複数のラベルが混在
兵庫県西宮市甲子園, 採集日不明, 2, Sh017476(阿部)。

兵庫県西宮市甲子園, 採集日不明, 1, Sh017479(阿部)。

兵庫県西宮市甲子園(摂津甲子園)・香川県高松市屋

島, 採集日不明, 7, Sh009657(金丸)。

※異なる産地名が記載された複数のラベルが混在
愛媛県今治市, 集日不明, 2, 武智, Sh009653(金丸)。

※ラベルに岩川氏同定と記載

福岡県(博多湾), 採集日不明, 3, Sh009654(金丸)。
宮崎県(日向延岡), 1959/5/10, 4, Sh009655(金丸)。

備考: 本種は、内湾砂泥地に生息し、外洋にはみられないとされるが(日本ベントス学会, 2012), 三重県においては、外洋の影響が強い紀伊長島, 尾鷲から記録がある(松本, 1979)。
ハザクラ *Psammotaea minor* (次種)を本種と同定した可能性もあるが、本コレクションには、これらの地域の標本は含まれていない。
1980年頃までは伊勢湾で普通にみられた本種は、1988年には死殻もみられなくなったが(松本, 1988), 1999年に生きた未成熟個体が確認された(中野, 2000)。
その後、場所によっては優占種となるまで爆発的に増加したが、2010年代に入ると再び個体数は減少した。

10. ハザクラ *Psammotaea minor* (Deshayes, 1855)

神奈川県逗子市, 採集日不明, 4片(左殻), Sh009662(金丸)。(Pl.2, fig.3)

和歌山県御坊市塩屋町(紀伊塩屋), 採集日不明, 5, Sh009663(金丸)。

和歌山県御坊市塩屋町(紀伊塩屋), 採集日不明, 1, Sh017478(阿部)。

和歌山県(紀伊), 採集日不明, 2, Sh009661(金丸)。

備考: 房総半島からフィリピンにかけての河口域に生息するが、全国的に産出の少ない種である。山口県豊浦町など多産する場所も知られているが(山口県立山口博物館, 1992), 現在では健全な生息地が少なくなった。三重県では松阪市, 熊野市(松本, 1979), 尾鷲市(中野, 2005), 志摩市や南伊勢町(中野・中, 2006)から記録がある。日本ベントス学会(2012)にも、南伊勢町産の個体が図示されているが、本コレクションには三重県産の個体は含まれていなかった。

11. マスオガイ *Psammotaea elongate* (Lamarck, 1818)

高知県, 採集日不明, 2, Sh017488(阿部)。(Pl.2,

fig.4)

高知県（高知），採集日不明，3, Sh009671（金丸）．
鹿児島県（奄美大島），1958/--/--, 1, 白井祥平，
Sh017482（阿部）．

鹿児島県（奄美大島），採集日不明，1, Sh009672
（金丸）．

沖縄県（琉球），採集日不明，2, Sh009670（金丸）．

沖縄県（沖縄），採集日不明，2, Sh009673（金丸）．

備考：本コレクションには，三重県産の個体は含まれていないが，近年，紀北町で生貝が確認された（木村，2006）．また，県内の複数の地点で死殻が確認できることから（中野環，未発表），過去には内湾干潟を中心に生息していたと考えられる．現在，生息が確認できるのは，北牟婁郡の生息地のみで（日本ベントス学会，2012）．

12. リュウキュウマスオ *Asaphis violascens* (Forsk., 1775)

鹿児島県熊毛郡屋久島町（屋久島），1960, 1, 伊藤恒堂，Sh017468（阿部）．（Pl.2, fig.5）

沖縄県（琉球），採集日不明，2, Sh009681（金丸）．

沖縄県（沖縄），採集日不明，4, Sh009684（金丸）．

13. ムラサキガイ *Soletellina adamsii* Reeve, 1857

三重県津市河芸町豊津，1979/4/28, 3, Sh015345（河芸）．

三重県津市河芸町上野（伊勢上野），採集日不明，4, Sh009679（金丸）．

三重県津市，採集日不明，2, Sh012678（服部）．

三重県津市（津海岸），1970/7/17, 4, Sh000043（三重）．

三重県津市（津），採集日不明，1, Sh009678（金丸）．

三重県伊勢市大湊町，1988/8/14, 2, Sh017487（阿部）．
（Pl.2, fig.6）

備考：本種の学名については，従来から多くの図鑑等で *Hiatula diphos* (Linnaeus, 1771) が使用されてきた．*H. diphos* の腹縁は著しく湾曲し，後端は細くくちばし状になることから，日本で確認される個体は，*Soletellina adamsii* であるとされる（Honda et al. 2001）．ここでは，Honda et al. (2001) を支持し，ムラサキガイの学名には，*Soletellina adamsii* Reeve, 1857 を用いるこ

とにする．

本コレクションの標本は，すべて三重県産の大型個体の死殻であった．これは，三重県では既に絶滅したというのではなく，本種の生息環境が，干潮時に現れた砂干潟から更に30～40cm下にあるため，アサリ捕獲等を目的とした潮干狩りでは得られにくいことによるものと考えられる．1980年代には，大型の個体が普通に打ち上げられていたが，1990年代になると，ほとんどみられなくなった．しかし，2012年12月頃から，殻長50mmほどの個体が多く確認されるようになった（中野，2014）．

14. アケボノキヌタ *Soletellina atrata* Deshayes in Reeve, 1857

愛知県西尾市一色町（三河一色），1956/--/--, 1, 林獎一郎，Sh017576（阿部）．

愛知県西尾市一色町（三河一色），1957/2/12, 1, 林獎一郎，Sh009628（金丸）．（Pl.2, fig.7）

愛知県西尾市一色町（三河一色），採集日不明，1, 林獎一郎，Sh019001（三重）．

愛知県西尾市一色町（三河一色），採集日不明，2, Sh009667（金丸）．

和歌山県（紀伊荒浜），採集日不明，1, Sh009629（金丸）．

備考：フジナミ *Soletellina boeddinghausi* (次種) に類似するが，殻頂がほぼ中央にある点，殻頂から殻腹縁に2本の白帯が明瞭に現れる点などで区別した．三重県では，国府（志摩市）から記録があるが，本コレクションには三重県産の個体は含まれていなかった．

15. フジナミ *Soletellina boeddinghausi* Lischke, 1870

三重県鈴鹿市白子，採集日不明，3, Sh009668（金丸）．（Pl.2, fig.8）

三重県津市河芸町，採集日不明，1, Sh015409（河芸）．

三重県津市（津），採集日不明，1, Sh009666（金丸）．

長崎県（五島），採集日不明，2, Sh009669（金丸）．

備考：砂泥質干潟の低潮帯付近に生息する種で，内湾だけでなく外洋的環境の小さな湾にも生息する．1990年代頃頃から各地の生息地や個体群は減少する傾向にあるが，近年，大阪府で生貝が確認された（大古場，

2014) . 本コレクションの個体は、全て死殻であるが、殻皮が残る個体も含まれていた。三重県においては、現在は古い破片が希に確認される程度で、既に絶滅した可能性もある。

16. イソシジミ *Nuttallia japonica* (Reeve, 1857)

北海道サロマ湖, 採集日不明, 2, Sh009637 (金丸) .
宮城県亘理郡山元町坂元 (坂元村), 採集日不明, 1, Sh009636 (金丸) .

福島県いわき市小名浜, 採集日不明, 2, Sh009634 (金丸) .

神奈川県藤原市片瀬 (相模片瀬), 1952/10/--, 三重県 (イセ) 採集日不明, 3, 中上川小六郎, Sh009635 (金丸) .

※異なる産地名が記載された複数のラベルが混在

三重県津市, 1919/8/11, 5, Sh012652 (服部) .
三重県津市, 1953/1/20, 5, Sh009633 (金丸) .
三重県津市, 1967/8/23, 33+片, Sh019523 (三重) . (Pl.2, fig.9)

三重県津市, 採集日不明, 1, Sh009642 (金丸) .
三重県津市河芸町東千里, 1979/5/26, 2, Sh015277 (河芸) .

三重県津市河芸町東千里, 1979/5/26, 4, Sh015424 (河芸) .

三重県津市香良洲町, 採集日不明, 1, Sh017486 (阿部) .

三重県松阪市松名瀬町, 1996/12/12, 5, 中野恒夫, Sh016708(三重) .

兵庫県西宮市甲子園, 1962/--/--, 2, Sh009640 (金丸) .
岡山県笠岡市白石島 (備中白石島), 採集日不明, 2, Sh009639 (金丸) .

備考: ワスレイソシジミ *Nuttallia obscura* (次種) に類似するが、左殻が右殻より膨らむ点で区別した。三重県においては、1990年代に河口域の砂泥底に普通にみられたが、2000年代に入ってから減少した。

17. ワスレイソシジミ *Nuttallia obscura* (Reeve, 1857)

北海道常呂町サロマ湖, 採集日不明, 2, Sh012124 (長高) .

岩手県気仙郡, 1912/12/7, 1, Sh009688 (金丸) .

三重県津市香良洲町, 採集日不明, 1, Sh009690 (金丸) .

三重県 (イセ), 1948/5/13, 2, Sh009686 (金丸) . (Pl.2, fig.10)

三重県尾鷲市, 採集日不明, 1, Sh017485 (阿部) .

三重県尾鷲市, 採集日不明, 2, Sh009687 (金丸) .

三重県熊野市新鹿町, 採集日不明, 2片 (左殻), Sh009638 (金丸) .

高知県 (高知), 1959/4/2, 2, Sh009685 (金丸) .

備考: 吉良 (1953) は、内湾性のワスレイソシジミに対し、外洋性で靱帯が極めて強靱で歯丘が著しく広い個体をアツイソシジミ *Nuttallia solida* Kira, 1953として区別した。このときに図示された尾鷲市産の個体は、本コレクションのSh009687である。本報告では、アツイソシジミはワスレイソシジミのシノニムとしてリストアップした。

18. エゾイソシジミ *Nuttallia ezonis* Kuroda & Habe, 1955

千島, 採集日不明, 2, 笹森亭秀, Sh009646 (金丸) . (Pl.2, fig.11)

千島沙那, 採集日不明, 3, Sh009647 (金丸) .

Family Solecurtidae キヌタアゲマキ科

1. キヌタアゲマキ *Solecurtus divaricatus* (Lischke, 1869)

神奈川県逗子市, 採集日不明, 2片 (右殻), Sh002888 (金丸) .

愛知県西尾市一色町 (三河一色), 採集日不明, 2, 中山清, Sh002887 (金丸) .

三重県鈴鹿市白子, 採集日不明, 2片 (左殻), Sh002894 (金丸) .

三重県鈴鹿市白子, 採集日不明, 4, Sh016637 (阿部) .

三重県津市, 1925/8, 1, Sh012662 (服部) .

三重県伊勢市有滝町, 1952/--/--, 1, Sh017418 (阿部) . (Pl.3, fig.1)

和歌山県白浜町島島, 採集日不明, 1, Sh002889 (金丸) .

備考: 本種は潮間帯以深に生息するが、波浪の影響を受け海岸に死殻が打ち上げられることもある。通常は砂泥底に深く潜って生息するため、アサリ捕獲を目的とした潮干狩りで、生きた個体が確認されることは少ない。殻高が大きく、後背部に石灰が沈着して分枝状

彫刻が不明瞭になる個体を本種とし、ウマノアゲマキ *Solecortus dunkeri* Kira, 1959 (次種) と区別してリストアップした。

2. ウマノアゲマキ *Solecortus dunkeri* Kira, 1959

高知県 (土佐), 採集日不明, 1, Sh002895 (金丸).
高知県土佐清水市, 採集日不明, 2, Sh002882 (金丸).

高知県, 1960/--/--, 1, 桜井欽一, Sh017416 (阿部).
(Pl.3, fig.2)

愛媛県温泉郡, 採集日不明, 1+2片 (左殻),
Sh002881 (金丸).

愛媛県温泉郡, 採集日不明, 1+2片 (右殻),
Sh002881 (金丸).

備考: ウマノアゲマキは, キヌタアゲマキに比べて殻が細長い形の個体をもって記載された。この形質は連続するため両種を区別ができないとされたが (波部, 1981), 本コレクションの中で, 後背部にある彫刻が明瞭に隆起する特徴を有する個体は, この名でリストアップした。

3. ツヤキヌタアゲマキ *Solecortus consimilis* Kuroda & Habe, 1961

愛知県西尾市一色町 (三河一色), 採集日不明, 1,
Sh002879 (金丸). ※波部忠重氏同定 (Pl.3,
fig.3)

愛知県西尾市一色町 (三河一色), 採集日不明, 1,
Sh002900 (金丸). ※小菅貞男氏同定

愛知県西尾市一色町 (三河一色), 採集日不明, 1,
Sh017419 (阿部).

山口県萩市見島, 採集日不明, 1, 多田, Sh002880
(金丸).

備考: 本コレクションには, 模式産地である愛知県三河一色産の個体が含まれていたが, 採集日が記されていない。後背部にある分枝状彫刻はキヌタアゲマキよりも密で, 石灰が沈着しない特徴を示す (黒田ほか, 1971). 本種は房総半島から渥美外洋にかけての水深30m以深に生息する (日本ペントス学会, 2012). 三重県では, 紀伊長島水深30mから記録があるが (松本, 1979), 本コレクションには三重県産の個体は含まれていなかった。

4. シロキヌタアゲマキ *Solecortus rhombus* (Spengler, 1802)

三重県, 採集日不明, 1, Sh017414 (阿部).

山口県萩市見島, 採集日不明, 2, Sh002883 (金丸).

鹿児島県 (大隈大島), 採集日不明, 2, Sh002884
(金丸). (Pl.3, fig.4)

5. ウスキヌタアゲマキ *Solecortus wilsoni* Tryon, 1870

愛知県西尾市一色町 (三河一色), 採集日不明, 1,
Sh002886 (金丸).

愛知県西尾市一色町 (三河一色), 採集日不明, 1,
Sh017417 (阿部). (Pl.3, fig.5)

備考: 殻は白色, 厚質で大型になり, 後背には石灰が沈着しない (波部, 1981). 三重県では尾鷲市沖水深200mから記録があるが (松本, 1979), 本コレクションには三重県産の個体は含まれていなかった。

6. キヌタアゲマキ属の一種 *Solrcurtu* sp. cf. *S. sagamiensis* Kuroda & Habe, 1971

鹿児島県鹿児島市新島町燃島, 採集日不明, 2, 平田,
Sh002899 (金丸). (Pl.3, fig.6)

※ラベルに化石のメモ書き有り。破損。

備考: 黒田ら (1971) は, 解説の中で, 鹿児島湾内燃島の化石層中に, 本州から九州にかけて分布するヤワラキヌタアゲマキ *Solrcurtus sagamiensis* Kuroda & Habe, 1971 が多く含まれていると記している。鹿児島県立博物館には, 燃島の新生代第四紀燃島貝層から, 1987年9月20日に日隈健一氏により採取された化石が, ヤワラキヌタアゲマキ (登録番号 F000870065) として収蔵されている (鹿児島県立博物館, 1993). 同島からは, ツヤキヌタアゲマキが報告されているが (江川・坂下, 2004), その後の確認から, ヤワラキヌタアゲマキに修正が必要である (江川, 私信).

本コレクションの個体は, 小型で薄質である点で, 鹿児島県立博物館所蔵化石標本や黒田ほか (1971) の解説にあるヤワラキヌタアゲマキに近い種と考えられる。しかし, ヤワラキヌタアゲマキよりもふくらみが強く, 一見, ウスキヌタアゲマキの幼貝のように見える。本報告では, 暫定的に別種として, キヌタアゲマキ属の一種としてリストアップした。

7. ズングリアゲマキ *Azorinus abbreviates* (Gould, 1861)

愛知県西尾市一色町（三河一色），採集日不明，1，Sh002897（金丸）。

三重県津市白塚町，1954/9/20，4，Sh002890（金丸）。

三重県津市岩田河口，1967/3/20，1，Sh020907（金丸）。（Pl.3, fig.7）

三重県伊勢湾，採集日不明，2，Sh002898（金丸）。

和歌山県和歌山市，採集日不明，3，Sh002891（金丸）。

愛媛県，採集日不明，3，Sh002893（金丸）。

備考：三重県では南伊勢町や尾鷲市からも記録があるが（松本，1979），これらの地域の標本は，本コレクションには含まれていなかった。

8. ズングリアゲマキ（ホソズングリアゲマキ型）

Azorinus abbreviates form *minutes* Dunker, 1862

和歌山県田辺市・有田郡湯浅町（栖原村），採集日不明，3，木下清一郎，Sh002892（金丸）。（Pl.3, fig.8）

※異なる産地名が記載された複数のラベルが混在
備考：ズングリアゲマキの後方へ細くなる型で，幼貝に現れる形状とされ兩種は同一種とされる（波部，1981）。和歌山県（三長・三長，2006）や鹿児島県（名和，2008）から後方が細くなる型の個体が産出されているが，いずれもズングリアゲマキ *Azorinus abbreviates* として報告されている。本コレクションに含まれる個体では，殻内面に残る幼貝時の形状跡は，必ずしも後方が細くなるとは限らなかった。また，殻長36mmの成長した個体でも後背縁が緩やかに傾斜し，ホソズングリアゲマキ型となる個体もあり，ここではズングリアゲマキの1型としてリストアップした。

9. オオズングリアゲマキ *Azorinus scheepmakeri* (Dunker, 1852)

沖縄県，採集日不明，1，Sh002896（金丸）。（Pl.3, fig.9）

謝辞

本報文をまとめるにあたり，真鍋鬘氏には比較のため和歌山県産の個体を提供していただいた，田中真人氏には，本科の特徴に関して，江川和文氏，鹿児島県立博物館の坂本昌弥博士には，燃島産の化石について

ご教示いただいた。また，池辺進一氏には，本報文を査読いただいた。記して感謝の意を表したい。

引用文献

江川和文・坂下泰典．2004．鹿児島県燃島化石産地の貝類と現状．九州の貝，63: 1-12.

Honda, J., Willan, R. C., Suzukida, K., Mizoguchi, K. & Fukuda, H. 2001. Discovery of healthy populations of the endangered bivalve *Soletellina adamsii* Reeve, 1857 (Tellinoidea: Psammobiidae) on the Suo-nada Sea (western Seto Inland sea) coast of Yamaguchi Prefecture, western Japan, with taxonomic remarks. *The Yuriyagai*, 8(1), 23-32.

木村昭一．2006．紀伊長島町片上池の貝類続報．かきつばた，32: 28-32.

吉良哲明．1953．日本産イソシジミ属に就いて．*Venus*, 17(3): 144-151.

黒田徳米・波部忠重・大山桂．1971．相模湾産貝類．丸善，東京，734+489+51pp.+121pls.+1map.

波部忠重・小菅貞男．1967．標準原色図鑑全集3貝．保育社，大阪．xviii+223pp.+64pls.

波部忠重．1961．続原色日本貝類図鑑．x i v+183+42pp.+66pls. 保育社．大阪

波部忠重．1981．キヌタアゲマキガイ科の種類．ちりぼたん．12(3): 72-73.

鹿児島県立博物館．1993．鹿児島県立博物館収蔵資料目録．507pp.

Matsukuma Akihiko. 1989. Taxonomy and Geographical Distribution of Southwestern Japanese Species of *Grammatomya*, *Dysmea* and *Kermadysmea* (Bivalva: Psammobiidae). *Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo*, 22: 97-118, pls. 1-3.

松本幸雄．1979．三重の貝類（三重県産貝類目録）．鳥羽水族館，鳥羽，179pp.

松本幸雄．1988．姿を消したオチバガイ．三重動物学会会報，10/11: 88-89.

三長孝輔・三長秀男．2006．和歌山県田辺湾奥部干潟に生息する貝類．かきつばた，32: 1-14.

中野 環．2000．津市の干潟におけるオチバガイ *Psammotaea virescens* の生息記録．三重自然誌，6: 73-75.

中野 環．2005．三重県尾鷲市賀田湾の貝類．自然誌

- だより, 65: 2.
- 中野 環・中 優. 2006. 三重県における希少な貝類および甲殻類の生息記録. 紀伊半島の野生生物, 8: 9-28.
- 中野 環. 2014. 帰ってきたムラサキガイ. 自然誌だより, 102: 5.
- 名和 純. 2008. 琉球列島の干潟貝類相 (1) 奄美諸島. 西宮市貝類館研究報告, 5. 42pp+19figs.+16pls.+6tabs.
- 日本ベントス学会編. 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 秦野. 285pp.
- 奥谷喬司編著. 2000. 日本近海産貝類図鑑. 東海大学出版会, 1173pp.
- 大古場正. 2014. 大阪府で生息を確認したフジナミガイ. *Nature Study*, 60(1):11-12.
- 山口県立山口博物館. 1992. 概説 山口県の貝類. 99pp.+50pls.+xx vi.

Plate.1

1. シオサザナミ *Gari truncata* (Linnaeus, 1767)
和歌山県水軒, 採集日不明, 殻長 39.8 mm, 殻高 19.9 mm, [Sh009658].
2. アシガイ *Gari maculosa* (Lamarck, 1818)
和歌山県 (紀伊)・兵庫県 (舞子), 採集日不明, 殻長 45.7 mm, 殻高 24.8 mm, [Sh009631].
3. ホソアシガイ *Gari sibogai* Prashad, 1932
愛知県西尾市一色町, 1956/--/--, 殻長 18.0 mm, 殻高 8.0 mm, [Sh017474].
4. ウスベニマスオ *Gari anomala* (Deshayes, 1855)
三重県伊勢市有滝町, 1952/--/--, 殻長 40.2 mm, 殻高 22.0 mm, [Sh016612].
5. ヒノデアシガイ *Gari hosoyai* Habe, 1958
愛媛県, 採集日不明, 殻長 20.0 mm, 殻高 10.1 mm, [Sh009665].
6. ミヒカリマスオガイ *Gari* sp.
高知県土佐市宇佐町, 採集日不明, 殻長 58.3 mm, 殻高 27.0 mm, [Sh009677].
7. ハスメヨシガイ *Grammatomya squamosa* (Lamarck, 1818)
沖縄県, 1950/--/--, 殻長 28.0 mm, 殻高 21.1 mm, [Sh009664].

Plate 1.

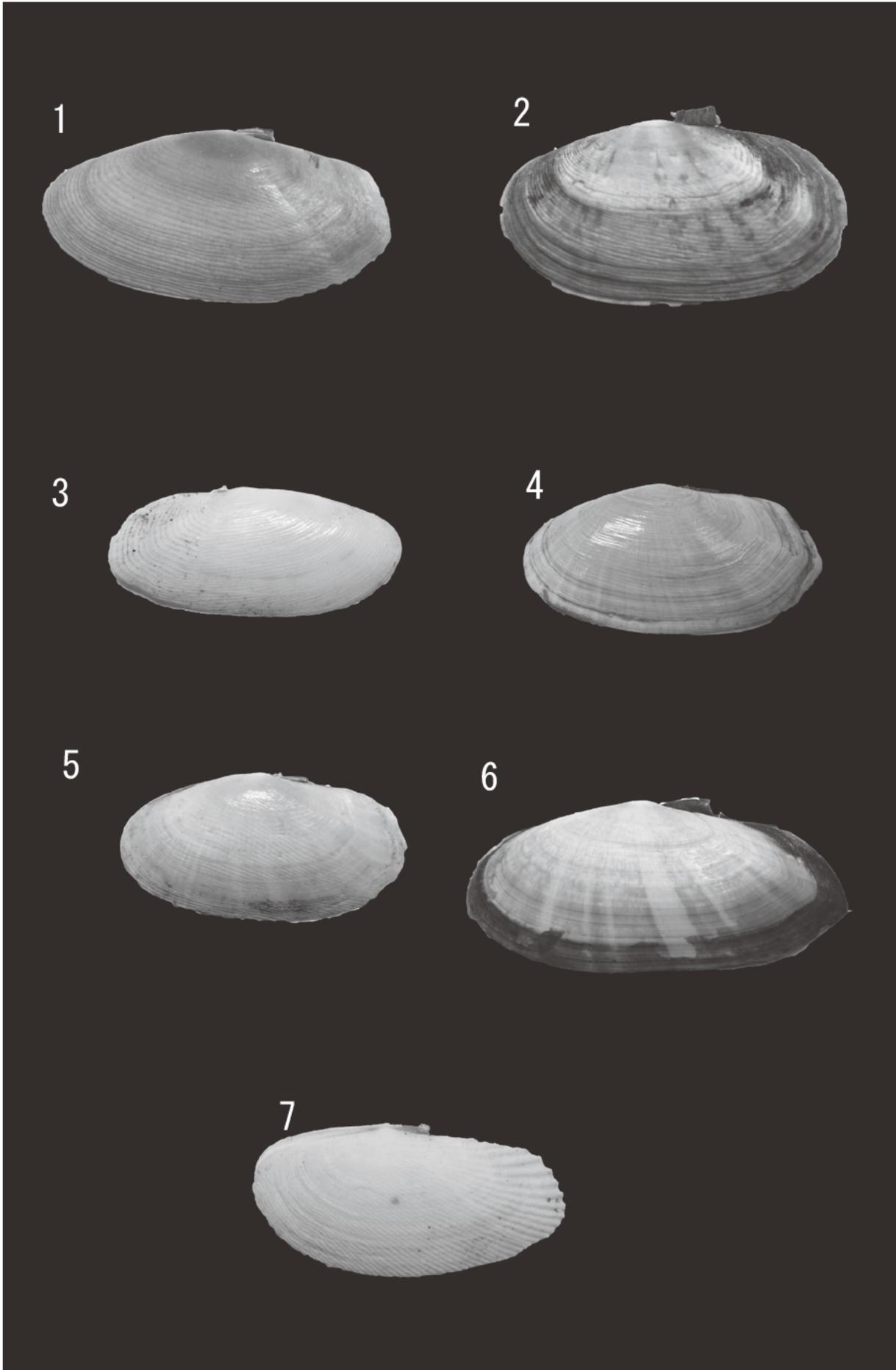


Plate.2

1. エゾマスオ *Gobraeus kazusensis* (Yokoyama, 1922)
岩手県, 採集日不明, 殻長 67.3 mm, 殻高 40.1 mm, [Sh009648].
2. オチバガイ *Psammotaea virescens* (Deshayes, 1855)
三重県津市, 採集日不明, 殻長 31.1 mm, 殻高 19.1 mm, [Sh009650].
3. ハザクラ *Psammotaea minor* (Deshayes, 1855)
和歌山県御坊市塩屋, 採集日不明, 殻長 27.2 mm, 殻高 18.2 mm, [Sh009663].
4. マスオガイ *Psammotaea elongata* (Lamarck, 1818)
高知県, 採集日不明, 殻長 61.2 mm, 殻高 34.1 mm, [Sh017488].
5. リュウキュウマスオ *Asaphis violascens* (Forsk., 1775)
沖縄県, 採集日不明, 殻長 56.1 mm, 殻高 36.0 mm, [Sh009681].
6. ムラサキガイ *Soletellina adamsii* Reeve, 1857
三重県伊勢市大湊町, 1988/08/14, 殻長 85.0 mm, 殻高 41.4 mm, [Sh017487].
7. アケボノキヌタ *Soletellina atrata* Deshayes in Reeve, 1857
愛知県西尾市一色町, 1957/02/12, 殻長 47.6 mm, 殻高 27.3 mm, [Sh009628].
8. フジナミ *Soletellina boeddinghausi* Lischke, 1870
三重県鈴鹿市白子, 採集日不明, 殻長 87.8 mm, 殻高 51.8 mm, [Sh009668].
9. イソシジミ *Nuttallia japonica* (Reeve, 1857)
三重県津市, 1967/08/23, 殻長 37.8 mm, 殻高 27.9 mm, [Sh019523].
10. ワスレイソシジミ *Nuttallia obscura* (Reeve, 1857)
三重県津市香良洲町, 採集日不明, 殻長 91.0 mm, 殻高 43.9 mm, [Sh017486].
11. エゾイソシジミ *Nuttallia ezonis* Kuroda & Habe, 1955
千島, 採集日不明, 笹森享秀採集, 殻長 49.2 mm, 殻高 36.2 mm, [Sh009646].

Plate 2.

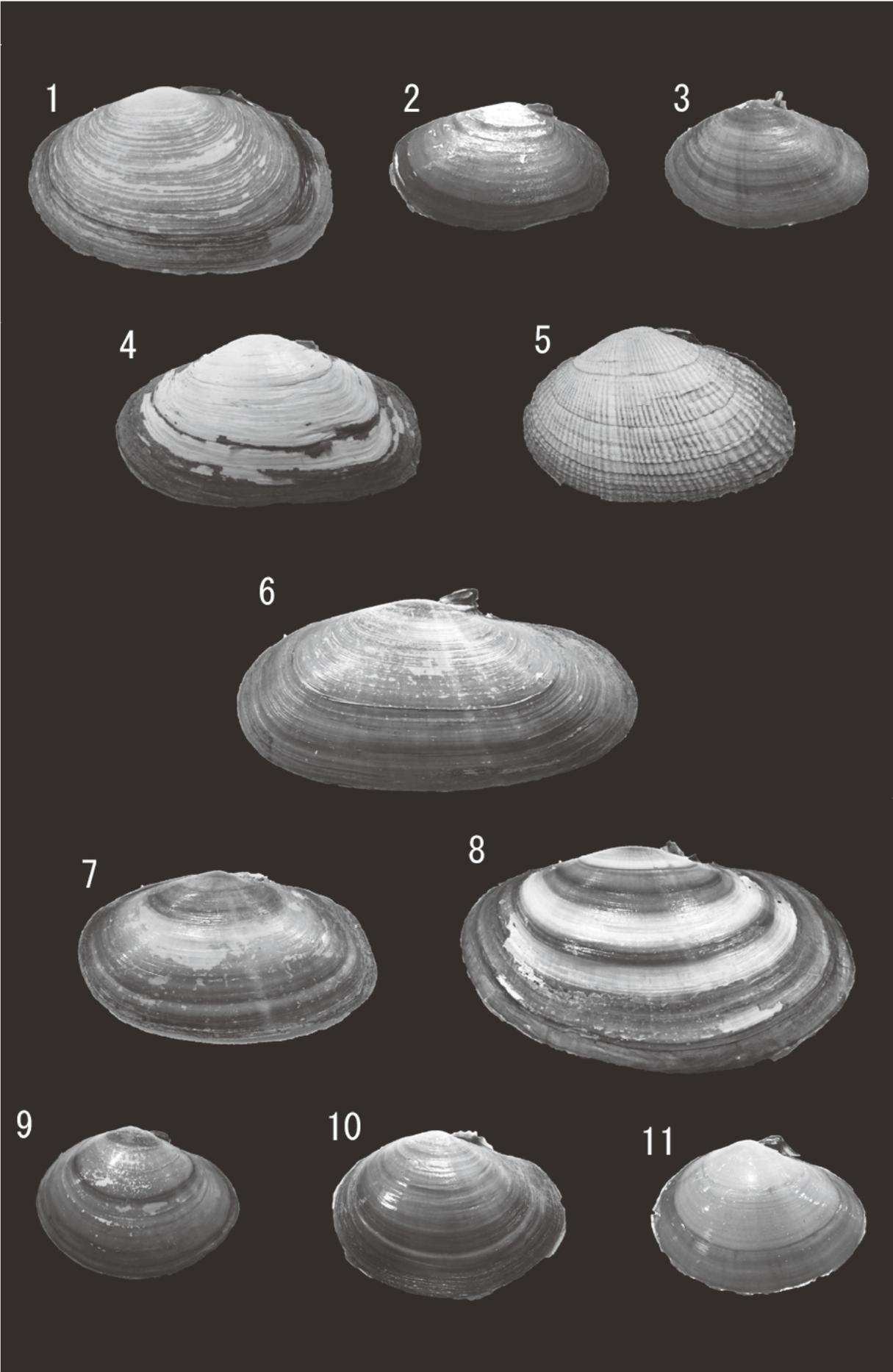


Plate.3

1. キヌタアゲマキ *Solecirtus divaricatus* (Lischke, 1869)
三重県伊勢市有滝町, 1952/--/--, 殻長 71.6 mm, 殻高 29.0 mm, [Sh017418].
2. ウマノアゲマキ *Solecirtus dunkeri* Kira, 1959
高知県, 1960/--/--, 殻長 50.1 mm, 殻高 20.0 mm, [Sh017416].
3. ツヤキヌタアゲマキ *Solecirtus consimilis* Kuroda & Habe, 1961
愛知県西尾市一色町, 採集日不明, 殻長 61.1 mm, 殻高 24.3 mm, [Sh002879].
4. シロキヌタアゲマキ *Solecirtus rhombus* (Spengler, 1802)
鹿児島県大隅大島, 採集日不明, 殻長 36.9 mm, 殻高 11.1 mm, [Sh002884].
5. ウスキヌタアゲマキ *Solecirtus wilsoni* Tryon, 1870
愛知県西尾市一色町, 採集日不明, 殻長 49.1 mm, 殻高 20.3 mm, [Sh017417].
6. キヌタアゲマキ属の一種 *Solecirtus* sp.cf. *S. sagamiensis* Kuroda & Habe, 1971
鹿児島県鹿児島市新島町燃島, 採集日不明, 殻長 36.1 mm, 殻高 15.5 mm, [Sh002899].
7. ズングリアゲマキ *Azorinus abbreviates* (Gould, 1861)
三重県津市岩田川河口, 1967/03/20, 殻長 41.0 mm, 殻高 19.0 mm, [Sh020907].
8. ズングリアゲマキ (ホソズングリアゲマキ型) *Azorinus abbreviates* form *minutes* Dunker, 1862
和歌山県, 採集日不明, 殻長 36.0 mm, 殻高 16.6 mm, [Sh002892].
9. オオズングリアゲマキ *Azorinus scheepmakeri* (Dunker, 1852)
沖縄県, 採集日不明, 殻長 59.0 mm, 殻高 25.9 mm, [Sh002896].

Plate 3.

